

<h2 style="text-align: center;">見帰りの滝</h2> <p style="text-align: center;">～清流とアジサイ（紫陽花）がくり広げる日本絵巻～</p>	分野 自然
	地域 相知
	◎地図・写真・統計資料など
<p>見帰りの滝は、相知町の北部にある作礼山（標高887メートル）に源を発し、紅葉の美しい山瀬渓谷や清流の玉散りの滝などの見所を持った伊岐佐川によって形成されている。日本の滝百選に選ばれており、落差は約100メートルといわれる。</p> <p>清流であることから、昔から川魚も沢山住んでおり、溪流釣りの人気スポットでもある。昭和45年に「県立自然公園」指定されている。</p> <p>清流であることをキャッチフレーズに、夏の避暑地としての魅力として「ニジマス釣り大会」を行い観光化を図ったが、このイベントが1日かぎりのイベントであったことから、継続的観光産業としては成り立たなかった。</p> <p>そこで地場産業育成協議会では、そのころ、近くの清流荘（食事処）のおばあちゃん（故 小松アサノさん）が植えた数本のアジサイを滝とマッチングさせることを発案。他の観光地が雨季を避けるのに対し、1か月間たっぷり観光客を呼び込むという企画となった。</p> <p>一方でアジサイの確保のための運動も必須となり、各家庭での「一株運動」が始まりました。またさらに発展し、アジサイの植栽の一つとしてJR九州唐津鉄道事業部で企画された「植栽ツアー」という体験観光を行い、その地域興しに一役をかった。増え続けるアジサイの管理は大変なもので、下草刈り、剪定などを行うことで花が期待できるだけに、継続的活動が必要となる。平成2年には相知町民が中心となり、「見帰りの滝アジサイ園を育てる会」（略称：アジサイ会）というボランティアグループが結成された。</p> <p>滝のすぐそばには、普通車の駐車場と水洗トイレを設置し、岩場の多い滝壺には歩きやすい遊歩道や吊り橋を整備。手軽に森林浴の気分が味わえる。平成6年にはピークを迎え、アジサイまつりの1か月間で約18万人もの人が見帰りの滝にやってきた。</p> <p>今後も清水と約50種4万株のアジサイのコラボレーションが多く観光客を呼びそうである。</p> <p>また、夜はライトアップされ、昼間とは違った風情が味わえる。</p>	
	(唐津新聞社より)
	◎引用・参考文献（出典）
	◆相知観光協会
◎エピソード・伝承・うんちく など	◎もっと詳しく知りたい方は
<p>見帰りの滝あじさいまつりでは、毎年2箇所設置の俳句箱に、期間中に投句されたものを選択対象とした俳句募集が行われている。</p> <p>平成23（2011）年 第23回 見帰りの滝 アジサイまつり</p> <p>第1位 厳木町 鳥越千波</p> <p>「ひんやりと 木立の風の 四葩（よひら）かな ※四葩（よひら）：アジサイのこと</p>	<p>唐津市近代図書館へ お問い合わせください。</p> <p>■電話：0955-72-3467</p> <p>■ホームページ： http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html</p>